

流木撤去は

5月をめどに処分



阿部 幸一 議員
(新 生 会)

問 昨年の台風被害で岸壁に揚げた流木について現在もそのまま放置しているが、いつまで放置している考えか。今では一般廃棄物と産業廃棄物も捨てられているが詳しく示せ。

佐藤町長 大沢漁港や船越漁港に陸揚げされた流木については、県で平成30年5月をめどに処分することとされている。時間の経過とともにタイヤやロープ類などのゴミが、流木の仮置場所に捨てられていく状況であったことから、早急に処分するように県に要請を続けてきたところである。



早急に撤去が必要な流木等

一般質問

林地開発の調査結果は

県で違反行為と認定

問 浦の浜地区の林地開発については岩手県による現地調査が終了したようだが、その結果について詳しく示せ。

町長 宮古農林振興センター林務室からの情報によると、船越地内におけ

る林地開発行為1件について、昨年末に1ヘクタールを超える林地開発違反行為と認定し、現在、違反行為者に対し行政指導を行っているとのことである。

30年度の経済の見通しは

経済規模の縮小が予想される

問 30年度の町の経済はどのようになる見通しか町の考えを示せ。

町長 現在の景気動向を示す指標の一つである有効求人倍率が1.52倍と、28年度の平均1.41倍を上回る水準となつている。

また、住宅建設については、山田地区の宅地完成により、引き続き、堅調に推移するものと見込

んでいる。

しかしながら、復興事業が徐々に完了し、関連業種の受注の縮小や町内の事業者の減少により、町の経済規模が縮小することが予想される。

町税収入も、31年度から減少すると見込まれることから、その動向に十分注意しながら町政の運営に当たっていききたいと考えている。